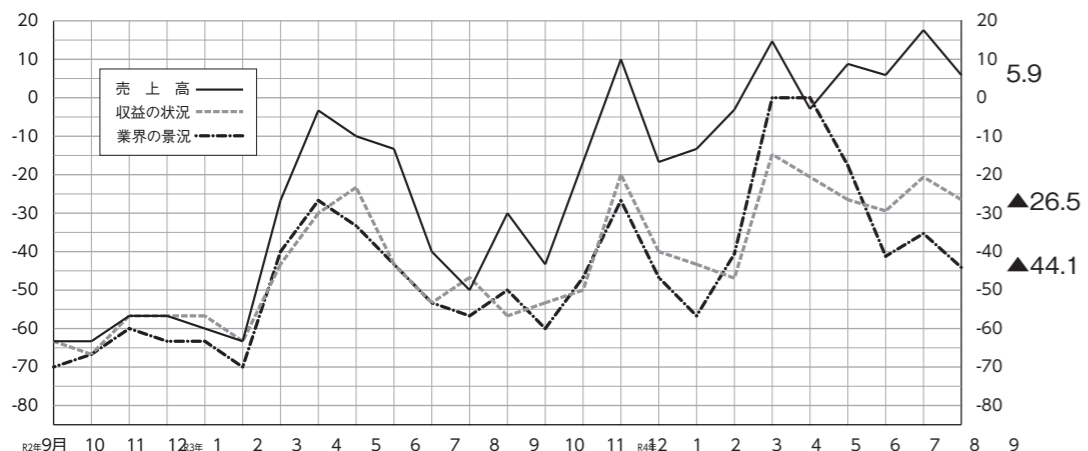




DI(景気動向指数)

情報連絡員報告



業界の状況

- …好転
- …やや好転
- …不変
- …やや悪化
- …悪化

	旅館・ホテル	宿泊動向として9月は元々需要が高くない状況に加え、シルバーウィークに台風の影響を受けるなどして落ち込んだ。10月以降は行政が実施する誘客策の効果が期待されるが、人員不足、売上原価高騰など課題が残る。宴会部門はキャンセルが続き、好転するきっかけが見当たらない状態である。
--	---------------	--

	酒類製造	かなりの増加がみられた。値上げ前の仮需も多少の要因か。実需要の結果であればよいが、来月の動向にやや不安。
	青果卸売	台風等の異常気象、長雨の為、販売価格上昇に伴い売上高は増加したが、資材等の値上がりもあり原価率は上がっている。新型コロナウイルスの影響も、業務関係は少しは改善されてはきたがまだまだである。
	商店街(四万十市)	よさこい四万十が台風のために中止。大きな自転車レースの参加者が市内にも訪れたり、ソフトボール選手も多数商店街で見かけることがあった。100キロマラソン大会は中止が決まった。

	食品団地	コロナ禍の影響が外食向け食材は低調。後半には市況がやや好転。工場コストとしての電気・ガス料金の上昇が収益を悪化させている。
	テントシート	コロナ禍ではあるが、各種イベントが開催されるようになり、イベント関連主力の事業所も活気が戻りつつある。しかしながら、イベント関連事業も少しずつ回復基調になりつつあるものの、厳しい状況。
	製材	全般的に荷動きは鈍い傾向。
	船舶製造	特に変化はない。新型コロナウイルスに関しても落ち着いた。
	珊瑚装飾品製造	8月の前年同月比170%から一転、9月の取引額は前年同月比50%と、業況が安定しない。
	各種小売(土佐市)	状況は全く変わらず。元々9月はあまり人の動きが多くはないが、見通しが立たない状況に小売店は頭を悩ませている。
	中古自動車小売	ちばさんセンター駐車場にて中古車フェアを3日間開催。在庫不足の中での開催であったが、軽、普通車ともに高年式車の販売台数が多い。前回2月の開催時より来客数が2割増、販売台数も微増の結果となった。
	商店街(高知市)	中央公園地下駐車場 売上前年比:121.3%、利用台数前年比:113.9%。9月23日高知大丸東館5階が新しくフードホールとしてオープンした。
	飲食店	前年同月比は120~130%だが比較対象の前年同月は感染拡大の只中。結局、例年(コロナ禍以前)と比べると売上は7、8割程度と低迷したまま。業態により売上に大きな差がある。県外客は増加、県内客は減少。光熱費や仕入価格の高騰がさらに拡大。10月から食料品全般が更に値上がるため(まとめ買い)を行った事業所が多かった。新型コロナウイルスの感染拡大による集客減、売上の低下が起こっており、今後は業界(県内事業主)の規模が縮小する恐れがある。
	旅行業	組合クーポン前年同月対比102%、全旅クーポンを加味して165%。(令和元年度同月対比41%)前年対比の売上増加であっても、旅行業界の景況が改善されている状況ではない。全国旅行支援が開始されるが、支援内容の周知が実施直前になった上、説明会等の実施もなく、GOTOトラベルの際より旅行者の事務作業が増加しており、組合員より、手に負えない状況で大変苦慮しているとの報告がある。また、全国旅行支援システム自体の利用が困難な組合員に対する組合事務局のサポートが必須となっている状況である。
IT事業	特に目立った動きもなく、全体的には相変わらず人材不足が続いている。売上も上がっている感じはなく、好転している感じは見受けられない。	

	木製品素材生産	全体的に値下がり傾向となっており、スギは若干下落、ヒノキは値下がりしてきている状況であるが、販売量は確保できている。今後、年末に向けても厳しい状況と思われる。入荷量は、天候にも恵まれ前月より微増。新型コロナウイルスは減少してきており、コロナによる木材価格への影響は少ないと思われるが、先行きは心配。
	建具	建材、木材、金物等が依然値上りを続けており、建具の値段に転嫁できていないところがある。全体的に仕事量も少ない。新型コロナウイルスは、組合員及びその社員にも広がっている。今後、飲食関係の仕事は少ないと思われる。
	製紙(家庭紙)	県内家庭紙業界に大きな変化はなく、厳しい状況が続く。各種イベント、行事等々が、従来の状況に戻り、人流が活性化することを期待する。
	製紙(手すき和紙)	コロナ禍や原材料の高騰・円安に伴い、取引先に価格交渉をしているが、なかなか厳しい状況が続いている。新型コロナウイルスの影響で売上の伸びが鈍い状態が続いている。今後も新型コロナウイルス・原材料高騰・円安といつまで続くのか見当もつかない。
	印刷	売上については若干上昇、設備操業度は微増か。コロナ以前比較でも若干回復傾向が見られる。しかし用紙等の再度の価格改定もあり、厳しい状況が継続すると思われる。
	生コンクリート製造	9月単月の出荷数量は、対前年比69.3%、4月からの累計出荷量は83.8%で地区的には高幡地区を除き全県下で減少傾向が続いている。生コン価格は、10月からの原材料価格の値上げに伴う価格転嫁を2023年4月から実施する方向で調整中。
	コンクリート製品	出荷数量は前年同月よりやや減少。令和4年度の災害復旧工事を含む公共工事の需要は減少はしているものの、少しではあるが昨年度の繰越工事の出荷もあるようだが、令和4年9月分は前年同月よりやや悪化した。
	刃物製造	小売の販売は前年を割っているが、先月出荷できなかった品が、当月に入り順調よく出荷でき、売上に繋がった。海外向けの品は相変わらず多く、国内への販売をカバーしてくれている。新型コロナウイルスに関して、感染は少し落ち着き始め、影響は徐々に減少していくのではないかと。
	機械団地	一部にコロナ禍による資材不足で納期の遅れが生じている。団地内の業況は、業種によりバラツキがあるものの、一進一退の状況である。
	卸団地	・単価の上昇により売上は増えているが、利益率は低下している状況。・9月の連休は、台風等の影響で、観光・外食はあまり動いていない。・景気悪化と円安、電気料値上げと、企業経営には厳しい状況となっている。新型コロナウイルスの影響で売上減少が続いており、今後も外食産業の不振が続き、食品関係企業の悪影響が続くことが危惧される。
	生鮮魚介卸売	台風のためカツオ・マグロその他入荷が少なかった。外国産(サーモン・ウニ・カニ・エビ他)の値上がりが見止まらない。
	電気機械器具小売	・全商品前年比98.6%。・資材の高騰のため、経営が厳しい。・台風14号の影響で、テレビのアンテナ倒壊の被害が多かった。
	ガソリンスタンド	ロシアのウクライナ侵攻も継続している。また円安により原油価格は高止まりが続いている。9月は新型コロナウイルスの感染が落ち着きを見せ、旅行者も増えており、経済は少しずつ動き始めている。政府による燃料油価格激変緩和事業発動の補助金額は9月末で1リットル当たり35.7円となり、原油価格は上下してもその差額分を補助金の調整でほとんど市況は動かずの状態が続いている。政府はこの補助金の期日を9月末から12月末に延長、さらに来春まで延長する意向があるとのことであるがガソリン価格の変動(値下がり)はしばらくの間小さいと思われる。
	商店街(安芸市)	物価高騰による値上げで、消費者や事業者への影響は大きい。新型コロナウイルスに関しては徐々に感染者が減少してきたが、客足は伸び悩んでいる。今後、飲食業や観光向け支援・地域振興券の発行などにより客数が増える事を期待。
	クリーニング	価格改定を行う業者がさらに増えるが、点数減でクリーニング需要は横ばい。エネルギー、燃料費など高止まりで、資材の一部値上げなど経費がかさむ。点数減で、新型コロナウイルスに関しては、外出控え気味が続く。冠婚葬祭も小規模になる。宴会需要も回復しない。それに伴うクリーニング需要が減少している。今後もwithコロナで多人数の集まりが減少し、外出機会の抑制などによる需要減少が予測される。
	一般土木建築工事	令和4年9月分の公共土木用生コン出荷量は、前月比105.2%、前年同月比69.3%。令和4年4月から令和4年9月累計においては前年累計対比83.8%。9月の工事請負金額は前年同月比で103.0%、前年対比累計金額では81.5%。令和4年9月末時点の前年対比累計請負金額は、国:80.9%、高知県:同累計67.0%、市町村:同累計97.0%となっている。生コン出荷量、工事請負金額共に累計では落ち込んでいるが、災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続している。生コンクリート単価については、引き続き値上げ交渉を行うことと共販率上昇に向けた取り組みを当組合としてもできることを行っていく。現在は共販率の引き上げに苦慮している。高知市内での価格引き上げについては、難航予想。その他の地区については、概して引き上げに理解を得ている。
	電気工事	組合員の施工する電力引込線工事は、前年同月比119.1%となった。安芸、須崎、窪川地区が増加した。
	一般貨物自動車運送	7.8月と値下げとなっていた燃料価格は9月若干の値上りとなった。原油価格は少し落ち着いたものの、円安の影響により高値で推移している。組合実績も微減となり物量も伸び悩んでいるとみられ、組合員企業も厳しい状況が続いている。また、新型コロナウイルスの影響で荷動きが悪く売上が伸びない。このまま荷動きが戻らなければ収益が落ち、経営を圧迫すると思われる。

	タクシー	実働1日1車当りの前年同月比営業収入:126.9%、輸送回数:119.0%、実働率は50.5%。気候も良くなり、行楽シーズンとなるが、タクシーを使って出かける人、高知に来てタクシーで観光する人はほとんどなく、活気がない。いつものことから、運転者不足が厳しく、これだけはなすすべがない。ハローワーク主催でセミナーを開き、数名出席があったが希望者はゼロ。
--	-------------	---